

市指定文化財<史跡>

くずはらじょうあと 葛原城跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市市野瀬



迫間川に沿って開けた市野瀬集落から、かなり急な坂道を2kmほど登った城床しろとこといわれる栗山一帯が城跡であり。石碑が建っている。

一見山城のようには見えないが、東部から北部、西部にかけては崖になっていて、現在の道路がなければ天然の要害といえる。

城跡は標高259mの台地で、城跡と集落の比高差が140mもあり、八方が岳が北方にそびえ、周囲の山々は複雑な地形をした深い谷が連続しており、要塞堅固な見張り所といった感じである。集落までの緩い傾斜地に堀でも設ければ敵の侵入を許さない防塁となる。

『菊池風土記』には「市野瀬八郎、代々居す、十八外城之内」とあり、一説にはこの地域に現在も姓の残る葛原氏の居城であったともいわれている。